

梅津北児童館	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者からの多種多様なニーズに応えられる多機能性を生かし、地域全体で子どもを育てていくための中核的役割を果たします。 ○地域に寄り添い、地域の拠点となり、子どもの最善の利益を優先した心身の育成を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学童クラブを「安心できる居場所・拠り所」として確立していきます。 ○異年齢集団としての連帯感を深め、互いの違いを認め、尊重し合える関係を築きます。 ○個々の状況に応じた支援のもと、自主性を高め、自立に向けて生きる力を育みます。 ○家庭や関係機関と連携し、保護者が安心して子育てできるよう支援します。
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○「乳幼児クラブ」や「広場活動」を通して子育て家庭のつながりを大切に取り組みました。特に転入してこられた方にとって地域の情報が聞きやすいと喜ばれました。年度途中から利用者の声を拾い「ランチタイム」や「カフェタイム」を実施しました。慌ただしく帰る必要がなく子どものペースで過ごすことができると喜びの声をいただきました。 ○同じ敷地である小学校の周年事業に合わせて地域やPTAと協力し児童館まつりを行うことで、連携を進めて事業を盛り上げることができました。 ○子どものやりたい声を拾うため「あのねこ」箱を設置しており、その子どもの意見から「ぬりえ大会」を実施しました。大会のルール等も子どもの意見をまとめて進めることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学童クラブ保護者へ向けて日々の子どもの様子や小さなケガ等でもアプリのメッセージを用いて丁寧に伝え、情報を共有することで「安心できる居場所」づくりに努めました。特に年度末に開いた親子交流会では、日ごろの子どもの遊びを親子で体験していただき親子の会話の糸口につなげました。 ○みんな遊びの進行を3年生中心に進めることや、お誕生日会の司会進行を縦割り班で行うことで異年齢集団の連帯感を深めました。 ○終わりの会で友達の良いところを発表する時間を設けて、発表の数に合わせてハートのマークを貼る「幸せハート」の取組を行うことで、子ども同士が互いの違いを認め尊重しあえる時間となりました。